

KER24-002-014 (0)



環境保全報告書(令和5年度)

2024年6月

新明和工業株式会社
航空機事業部 甲南工場

環境保全事務局

1. 重点課題の取組みに係る報告

環境目的	2023年度		備考		
	年度計画	実績		評価	
1 気候変動への対応	-	-	-		
<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量低減 	CO2排出量※ [t-CO2]	年間: 12,668以下	11,072	◎	目標値に対して達成。 (省エネ法のエネルギー原単位も、前年度比▲1%以上を達成。)
2 廃棄物削減とリサイクル	-	-	-		
<ul style="list-style-type: none"> ・排出量の低減 	廃プラ排出量※ [t]	年間: 154以下	170	×	目標未達。前年度より悪化。 →「廃プラ排出量原単位」を用い、前年度比▲1%以上改善できる排出量値を設定・管理する。
3 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動に係る従業員の知見、意識の向上 	①-1 教育資料(専門教育/職制教育) ②-1 リサイクル容易化提案活動 1件以上 ②-2 省エネ取組み提案 3件以上	①-1 フロン類使用機器の管理に係る一般教育実施 ②-1 787用離型フィルムの有価物化取組みを運用開始 ②-2 「甲南工場省エネ大作戦」での各部門取組みを参照方	○	e-ラーニングの実施実績により、教育の充実に対する手応えを得た。
4 その他(継続的な取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染予防への取組み ・基本と正道の徹底 ・環境にやさしい製品 ・リサイクルへの取組み強化 	①:環境測定、緊急事態訓練の実施 ②:環境法令に基づく有資格者確保、及び設備点検/管理 ③:SDS情報・公開体制の整備、顧客問合せ対応 ④:地球環境保全に貢献する製品/サービス ⑤:(ウイング)EMS編入に係る取組み	①、②:問題無し ((徳)特管産廃管理責任者:1名に) ③:直材に係るSDS情報入力済 ⑤:(ウイング)現状の把握中	△	<ul style="list-style-type: none"> ・環境測定に係る法令違反無し ・有資格者に係る問題無し ・(ウイング)編入に係る現状把握・調整中

評価 ◎:目標達成、○:前期より改善(目標未達でも)、△:変化なし、×:悪化

※ 航空機事業部全体(神戸市:甲南工場、神戸市以外:徳島工場・宝塚工場・播磨工場)の計画・実績。
CO2排出量は電力消費量に社内基準の係数を掛けて算出。(温対法報告基準ではない。)

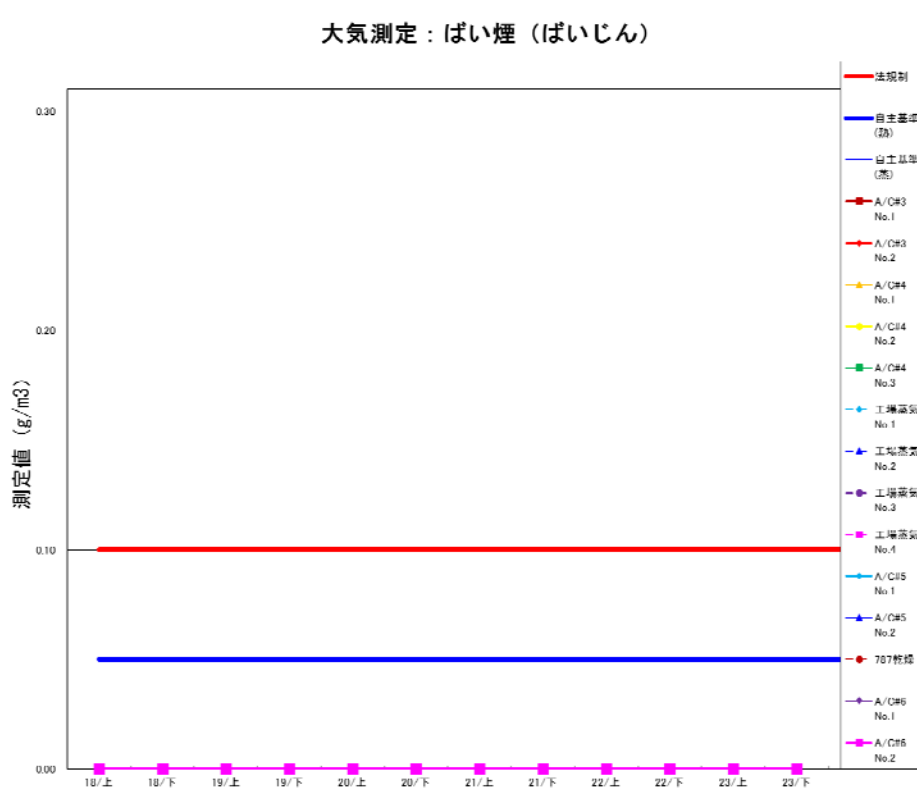
2. 公害防止対策に係る報告

公害上の分類	管理項目	管理方法	目標達成のために講じた措置・対策	測定結果	評価
大気汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー燃焼で発生する窒素酸化物、ばいじん ・洗浄施設で発生するVOC ・塗装設備等で発生する廃ガス 	社内「大気管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーメーカーによる定期点検を継続実施。 ・遠隔監視システム契約を継続し、常に最適な燃焼状態を維持。 ・設備作業前点検を順守、排気フィルタ類は定期的に清掃・交換を実施。 	定期測定結果は結果①参照 測定対象無し	○
水質汚濁	<ul style="list-style-type: none"> ・生産系排水 ・生活系排水 ・雨水排水 	社内「水質管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間連続監視による兆候管理を継続。 ・定期採水分析による監視を継続。 ・雨水側溝の清掃点検を実施。 	定期測定結果は結果②参照	○
騒音・振動 ・悪臭	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地境界線における設備騒音 ・飛行艇エンジン運転時における管理基準の順守 	社内「騒音・振動・悪臭管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音定期測定(2回/年)を実施。 ・飛行艇エンジン運転時の日時順守を徹底する。 	定期測定結果は結果③参照 測定対象無し	○
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物 ・特別管理産業廃棄物 ・事業系一般廃棄物 	社内「廃棄物管理基準」に従い、測定を通じて順守状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物置場の定期巡視による飛散、漏洩の防止 ・廃棄物処理業者の視察による適正処理確認 	定期巡視の継続実施により問題なし マニフェストの終了確認及び業者聞き取りにより確認	○
土壌汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質使用特定施設 	社内「土壌管理基準」に従い、有害物質使用特定施設の定期的な点検を実施し、問題があれば速やかに改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・有害物質使用特定施設について定期的な点検を実施。 	特定施設の定期点検結果、問題無し	○

2. 公害防止対策に係る報告

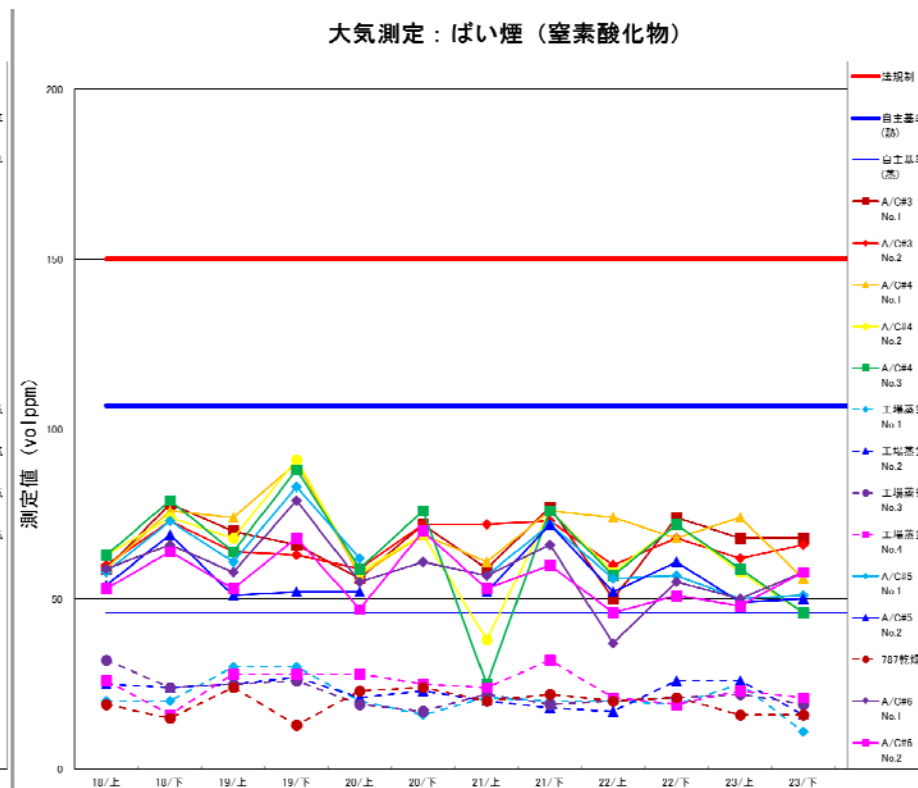
2-1. 定期測定（結果①）：大気汚染

大気測定：ばい煙（ばいじん）



ばいじん

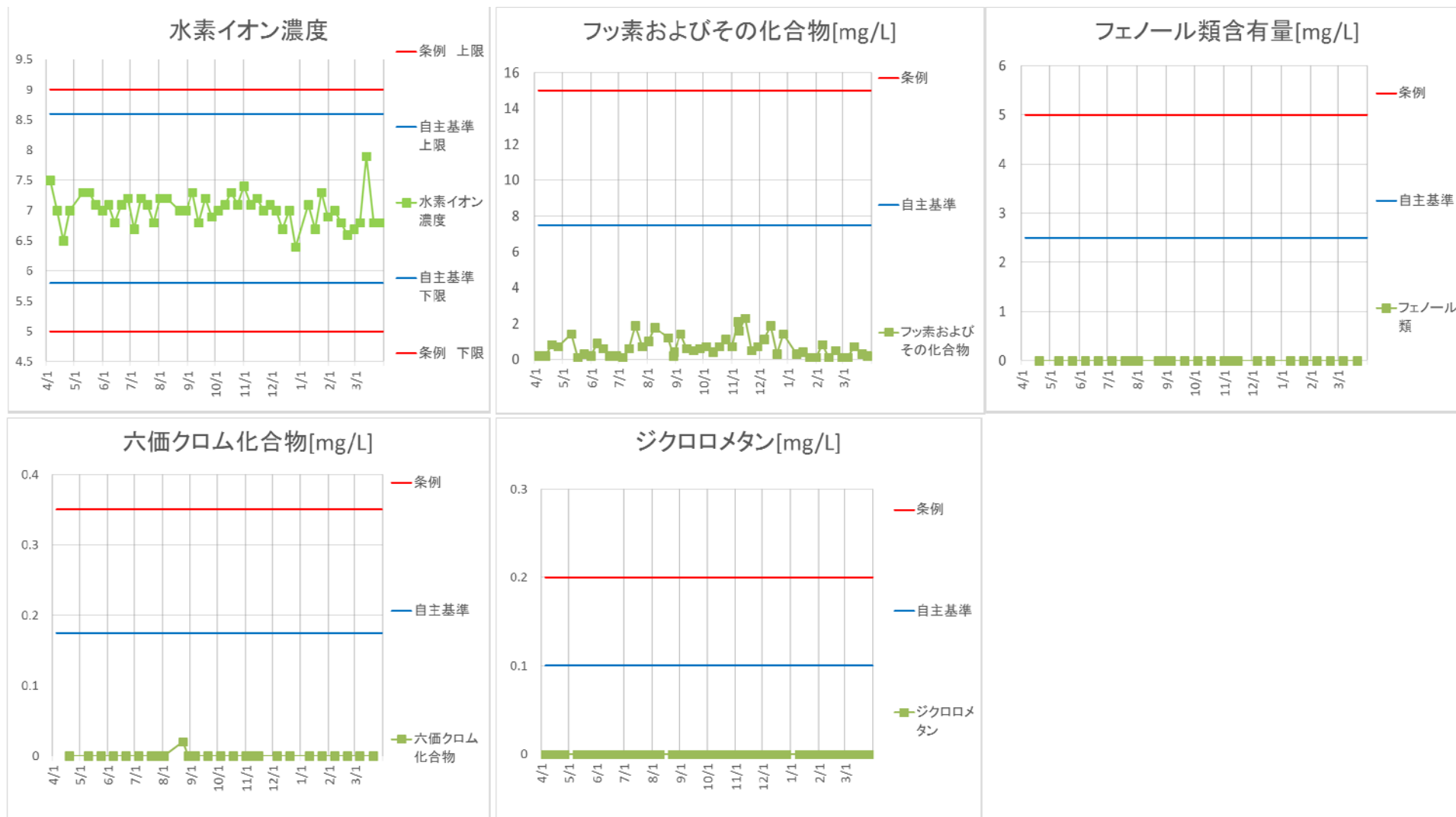
大気測定：ばい煙（窒素酸化物）



窒素酸化物

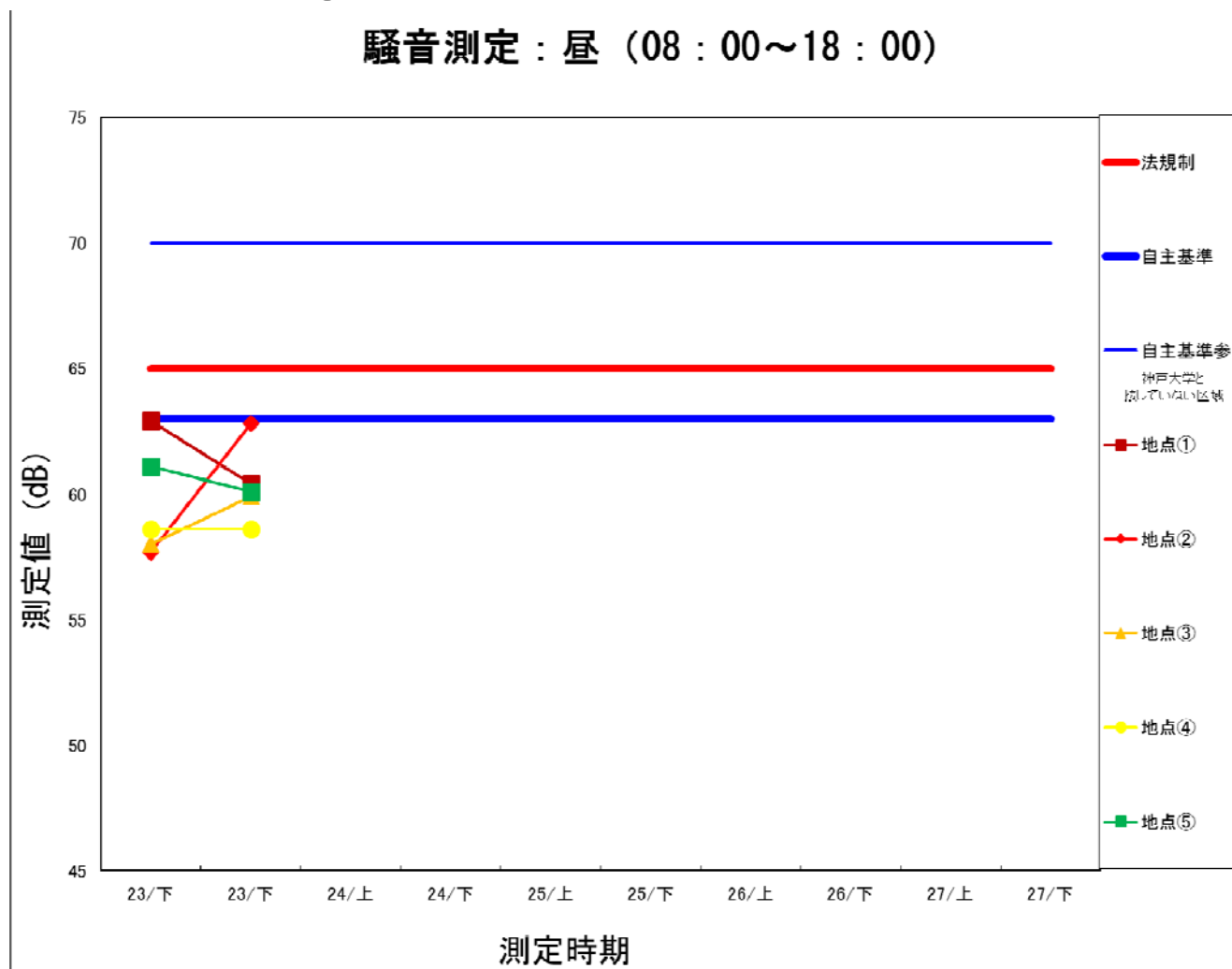
2. 公害防止対策に係る報告

2-2. 定期測定（結果②）：水質汚濁



2. 公害防止対策に係る報告

2-3. 定期測定（結果③）：騒音



※早朝、夜間の操業停止などを考慮し、昼間のみ結果を示す。

3. 地球温暖化対策に係る報告

3-1. 電気・燃料等の使用量、温室効果ガス（CO2のみ）排出量

（甲南工場のみ：兵庫県条例に基づく実績／計画の報告より）

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計
					kg-CO ₂ /MJ	kg-CO ₂	CO ₂	(CO ₂ 換算)
燃料の使用	原料炭			28.9	0.0898			
	一般炭		kg	26.1	0.0891			
	A重油		ℓ	38.9	0.0708			
	B重油		ℓ	41.8	0.0741			
	C重油		ℓ	41.8	0.0741			
	LPG	164	kg	50.1	0.0598	491	1	0.5
	都市ガス	1,200,491	Nm ³	40	0.0513	2,465,008	1	2,465.0
	ガソリン	1,200	ℓ	33.4	0.0686	2,748	1	2.7
	灯油	5,850	ℓ	36.5	0.0686	14,641	1	14.6
	軽油	1,451	ℓ	38.0	0.0689	3,801	1	3.8
	その他 (廃棄物等)		kg					
電気事業者から供給された電気の使用		19,288,177	kWh		0.434 (kg-CO ₂ /kWh)※	8,371,069	1	8,371.1
		2,568,405	kWh		0.000 (kg-CO ₂ /kWh)※	0	1	0.0
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
ドライアイスの使用		2,000	kg			2,000	1	2.0
合計								10,859.8

※ 電気に係るCO₂排出係数：温対法報告での基準（排出した年度の「前年度」実績からの調整後排出係数）
 電力使用量の10%をCO₂フリーとして扱う需給契約を2022年1月より適用開始。2023年3月より**30%**へ拡大

3. 地球温暖化対策に係る報告

3-2. 当該年度の計画達成状況 (単位：t)

(甲南工場のみ：兵庫県条例に基づく実績／計画の報告より)

温室効果ガス	基準年度 排出量(a) 2017年度	現況 排出量(b) 2023年度	2030年度目標	
			抑制目標量(c)	達成率(%)
二酸化炭素※ (参考:電力の CO2排出係数)	18,831.9 (0.453)	10,859.8 (0.434)	11,675.7 (0.250)	111.4
メタン	0.6	1.1	0.4	▲ 184.9
一酸化二窒素	0.1	0.1	0.1	146.1
HFC	2.5	1.3	1.5	130.0
PFC	0.0	0.0	0.0	-
六フッ化硫黄	0.0	0.6	0.5	-
三フッ化硫黄	0.0	0.0	0.0	-
合計	18,835.1	10,862.7	11,678.3	111.4

※ 電気に係るCO2排出係数: 温対法報告での基準(排出した年度の「前年度」実績からの調整後排出係数)
達成率(%) = {(a)-(b)} / {(a)-(c)} × 100

3. 地球温暖化対策に係る報告

3-3. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

抑制措置 大分類	具体的対策	削減目標／削減量	実施状況
省エネルギー等 低炭素型事業 活動の徹底	a)電力使用量の予実管理データをより詳細に提供 b)CO2フリーエネルギーの適用拡大 c)空調機器など点検、室外機の熱交換器洗浄 d)コンプレッサの適切な点検・運用 e)24h空調設備の台数間引き／操業に応じて 一時休止 f)生産活動の効率化(残業・休出の縮減) g)照明・OA機器の消し忘れ防止(昼休み・夜間) h)空調の適正な使用(夏期:28度、冬期:20度) 等の定着した節電活動	電力:▲300千kWh/年 達成 電力:2,568千kWh/年 をCO2フリー化	a)継続して運用・管理実施中。 b)電力の10%をCO2フリーとする契約を 継続中→2023/3月より 30% に拡大 c)～e) 省エネ促進に係るコンサル 受審により活動徹底 f)～h) 継続して運用・管理実施中 ※その他蒸気漏れ・エア漏れの修理 断熱未施工部の断熱施工
	製造設備又は 事務所ビルの 低炭素化	a)LED照明導入などの照明機器更新 b)R22フロン使用機器の更新 等の効率化機器適用 c)電動力利用設備に省エネVベルトの 積極的な適用(交換)	a)LED照明更新実施 (400型水銀灯→LED灯具へ) b)空調機器更新実施 c)省エネVベルトへの交換多数

4. その他環境保全活動に係る報告

(航) ESG No.	ESG重要課題	項目	細目	23年度目標	23年度結果	評価
3	環境にやさしい製品	・有害化学物質の 適正管理と削減	使用量の削減 低環境負荷材料の理解 含有物質算出精度の向上	購入量・使用量・廃棄量の調査及び集計を継続 適用法令(海外・国内)のより深い理解の推進	SDSにより有害化学物質の含有材料を調査・把握	○
4	気候変動への対応	・フロン適正処理	定期点検によるフロン類漏洩の予防 保全を実施	全数(100%)	100%自主点検実施	○
5	水質・土壌の安全管理	・廃水処理・表面処理での 事故撲滅 ・PCB管理	予防保全実施による突発事故の撲滅	事故0	外部への流出事故0	○
			棚卸し実施、保管状況の確認	4月に処分実施、確認は年1回(9月)	9月に実施	
7	廃棄物削減と リサイクル	～産業廃棄物～ ・発生量の抑制	積層プログラムの改善による複合材料 使用量を削減 有効期限付材料の購入量適正化 有効期限付材料の廃棄管理徹底 有価物化の推進 廃プラの分別徹底 ガラス・陶器類のリサイクル業者の開拓	622t/年(事業部全体)	683t/年 (特管156t含)	×
		・排出量の抑制		2.0t/年(事業部全体)	0.6t/年	
		・埋立量の削減		6,000kg/年	5784kg/年	○
12	人材育成	～一般廃棄物～ ・排出量の抑制 (「可燃ごみ」)	紙、プラスチック類、缶、ペットボトル類の分別 回収推進による排出量削減・勉強会 回収時の立会チェックと分別指導	随時	随時実施	○
		必要資格保有者の 育成・確保 ・緊急時の訓練	公害防止管理者(水質関係)資格の拡充 表面処理、危険物貯蔵所、給油所での 漏洩を想定した緊急時訓練を実施	各分野におけるe-ラーニング実施体制の確立 各訓練項目で年1回以上	資格1名取得 各訓練項目にて全4回 実施	
14	コミュニティとの調和	～工場騒音の監視～ ・飛行艇エンジン運転 試験の適正管理	近隣自治会等へエンジン運転情報の連絡 エンジン運転スケジュールの厳守	苦情0	苦情0	○
		・工場設備の稼働状況 監視	敷地境界での騒音測定実施 一部設備の夜間早期稼働制限を実施	法規制値順守 自主基準値順守	超過0 超過0	
		～地域社会への貢献～ ・ボランティア活動への 積極的参加	近隣地域や駅までの通勤経路等の 清掃活動を実施	年1回(11月)	新型コロナ影響を考 慮し 22年度は中止	
18	基本と正道の徹底	～ISO14001の維持管理～ 内部監査 定期サーベランス 見直し会議	年1回以上実施 審査機関:日本環境認証機構 活動を振り返り、将来への改善提案	年1回以上 7月 年2回以上	10月、3月に実施 7月に実施 10月、4月に実施	○